



# 千葉動力車

## 千葉支社 『千葉労』使用で謝罪？

### JR総連革マルと結託した 不当処分を撤回しろ

一四一名への不当な重処分が、JR総連革マルと結託したものであることは、誰の目にも明らかである。そのことを最もよく証明しているものに、千葉支社が、処分問題に関して記者会見用に配布された資料の中で、動労千葉のことを、「千葉労」という呼びかたをしていることである。

「千葉労」は  
革マルの使う用語！

この、千葉支社の断じて黙過できない「千葉労」呼ばわりに、全組合員の怒り

は、倍加されているのである。中野委員長も、七・二一抗議集会の中で、一段と激しく「『千葉労』呼ばわりは、革マルが使っている呼び名だ。中野洋を、『お前は野・中・洋だ』と言われれば誰でも怒るだろう、断じて許せない」と糾弾している。こうした全体の怒りを重視し、七月二三日の支社団交では、徹底的に当局を弾劾してきたところである。

「大変申し訳ない」と謝罪！  
するどい追及の前に

組合側は、千葉支社の出した記者会見用の資料(証拠)を前にして話し合っている。

組 「千葉労と使っているが、その根拠を明らかにせよ」

いか、いやがらせそのものだ！  
「そういうことはないと思う」

組 長い沈黙の後、「名称については、動労千葉と認識している、記者会見のとき使ったかどうかかわかりません」

再度証拠をつきつけ追及。  
「大変申し訳ない、問題があったことは認識している」

組 一斉に抗議！「公式文章で使っているのではな

動労千葉に対する「千葉労」という用語の使用は、八五年十一月二八、分割・民営化反対第一波ストの時、当時の動労「本部」革マルが使いだしたものである。ストライキの威力に動転し、動労千葉への憎悪をむき出しにして、「動労(革マル)と誤解されやすい、まぎらわしい」と、当局に使われた百%革マル用語である。

「スト参加者の庁舎内立ち入り、会社施設内立ち入りについては絶対に許すことができない」「組合事務所内、外にスト参加者がたむろする状況は容認できない」「スト参加者に対する会社施設の提供について拒否されたい」

当局は、この要求を全面的に受入スト準備段階

当面 裁判・地労委公判  
宿舎明け渡し請求公判  
八月六日、十日、千葉地裁  
「組合場不板等便宜供与」  
八月七日、十日、地労委  
「スト支配介入」  
八月十六日、十日、地労委

再度弾劾  
3月ストで  
JR総連革マルの申入れで  
当局がスト団交に拍車

三月ストにあたり、JR当局がスト前日から職場封鎖に乗り出した背景にはJR総連革マルからの「申し入れ」がある。

申し入れ(要旨)  
「スト参加者の庁舎内立ち入り、会社施設内立ち入りについては絶対に許すことができない」「組合事務所内、外にスト参加者がたむろする状況は容認できない」「スト参加者に対する会社施設の提供について拒否されたい」

処分のための処分三不当処分を断じて許さず職場の団結をガッチリと固めよう。

とりわけ、土岐区長による千葉転支部破壊のより凶暴化、錯乱化を怒りも新たに見据え、再度全力をあげて弾劾にたちあがろうではないか。